

EUにおける共同規制、自主規制の推進

報告：土屋仁美

はじめに——EUにおける新たな規制政策(new regulatory policy)の発展¹

- ・ 伝統的な指揮統制(command-and-control)型立法に代替的、補足的手法の重視：
ソフト・ロー(soft law)、共同規制(co-regulation)、自主規制(self-regulation)
- 規制手法の多様化：EU活動の有効性、正当性、透明性の向上

1 EUにおける共同規制、自主規制の推進の背景

(1) EU 法制度(Union's legislative policy)の2つの柱(pillars)

1985年 域内市場のための白書(White Paper for the Internal Market)

1986年 単一欧州議定書(Single European Act)：ECレベルでの規制緩和と自主規制

1996年 欧州委員会による「新たな立法文化(new legislative culture)」の表明²

① 「より良く行うためにより少なく(Do less in order to do better)」：単純化(simplification)と規制緩和³

- ・ 単純化：直接的な政府介入の便益の最大化、競争と雇用に対する最小限の規制(Molitor Report⁴)
- ・ 規制緩和：規制が必要なく、また、目的が代替的手法を通じてより効果的になり得る場合の政府規制の削減または除去

② 統治形態の多様化(Diversification of modes of governance)

- ・ 新規立法案：権限、補完性、比例性の審査⁵
- アムステルダム条約の補完性と比例性の付随書(Protocol on subsidiarity and proportionality)
「共同体活動の形態は、可能な限り単純(simple)にする」
「共同体は、必要な範囲でのみ法律を制定する」
「共同体措置は、可能な限り、国内決定の範囲を広く維持する」

(2) 欧州委員会によるより良いEUガバメント(better EU governance)

2000年 リスボン欧州理事会サミット(Lisbon European Council Summit)⁶

- ・ 世界的に最も競争力のある知識経済の構築(～2010年)

2001年7月 欧州ガバナンス白書(White Paper on European Governance)⁷

- ・ トップ・ダウン・アプローチの減少、非立法的手法によるより効果的な政策方法の補足
- 自主規制と共同規制の推進、関係当事者を関与：より良いコンプライアンス

2002年7月 「規制環境の単純化と改善(Simplifying and improving the regulatory environment)」について

¹ Linda Senden, Soft Law, Self-Regulation and Co-Regulation in European Law: Where Do They Meet?, *Electronic Journal of Comparative Law* 9.1 (2005), pp. 1-27.

² European Commission, Report on Implementation of the Commission's Work Programme for 1996, SEC(96) 1779 final

³ European Commission, Commission opinion "Reinforcing political union and preparing for enlargement", COM(96) 90 final.

⁴ European Commission, Report of the group of independent experts on legislative and administrative simplification (Molitor Report). COM (95) 288 final.

⁵ European Commission, Communication from the Commission on impact assessment, COM(2002) 276 final.

⁶ European Parliament, Lisbon European Council 23 and 24 March Presidency Conclusion, http://www.europarl.europa.eu/summits/lis1_en.htm.

⁷ European Commission, European Governance - A White Paper. COM (2001) 428 final

の活動計画(Action Plan)⁸

- ・ 欧州理事会による規制の単純化と改善のための協調戦略(coordinated strategy)の要請

2003年12月16日 欧州議会、理事会、委員会による、「より良い立法についての機関間協定(Interinstitutional Agreement on better law making)」⁹

- ・ 規制の代替的方法である共同規制や自主規制についての一般的枠組みや条件を初めて公表

2 EUにおける自主規制と共同規制の推進——「より良い立法についての機関間協定」

(1) 機関間協定の意義

① 3つの意思決定機関の共通の約束(commitment)：立法過程、規制の代替的手法に対する調整と協力

② 立法機関(特に欧州議会)への影響

- ・ 自主規制と共同規制が認められない場合の設定：民主的に正当な立法の維持

③ 少なくとも当事者間に強制力を有する

- ・ 3つの機関は、当該協定規定を適切に実施するための措置(means)と財源(resources)を確保するために必要な手段(steps)を講じる(para. 38)
- ・ 協力する特別な義務があることを主張し得る

(2) EUにおける自主規制と共同規制の定義

① 自主規制と共同規制

- ・ 共通：特定分野における強制立法と自発的なイニシアチブ(voluntary initiative)の間の形態¹⁰
- ・ 共同規制：特定分野の当事者に対して、EU法に定められた目的の達成を委ねる仕組み(para.18)
- ・ 自主規制：特定分野の当事者による当事者自身のためのEUレベルのガイドライン(para.22)

② 自主規制と共同規制の相違

i) 自主規制が適用可能な状況

- ・ 特定分野について

{	EU機関に特定の権限がない場合
	EU法がない場合

→ 「共同規制と異なり、自主規制は立法行為ではない」(2002年の委員会の行動計画)¹¹

- ・ 自主規制：立法行為に対する自発的な先行(ボトム・アップ・アプローチ)

ii) 共同規制：EU法の一部に対する先行

- ・ 規制過程：公的な行為者の直接的な参加が前提(トップ・ダウン・アプローチのための規制方法)
- ・ 立法に対する代替的方法よりも、立法に対する補足

iii) 共同規制と自主規制の共通の特徴

- ・ 一定の法的基準を満たさなければならない(「法の影響下で(under the shadow of the law)」)

⁸ European Commission, Communication from the Commission, Action plan “Simplifying and improving the regulatory environment”, COM(2002) 278 final.

⁹ European Parliament, Council, Commission, Interinstitutional Agreement on better law-making, OJ C 321 of 31.12.2003.

¹⁰ E. Best, Alternative Regulations or Complementary Methods? Evolving Options in European Governance, *Eipascop* (2003) 1, p 3.

¹¹ European Commission, Communication from the Commission, Action plan “Simplifying and improving the regulatory environment”, COM(2002) 278 final, p 11.

(3) 一般的な法的枠組みの発展と共同規制と自主規制

- ・ 共同規制と自主規制：欧州レベルの法的枠組外 + 特定の法的枠組内
 - 二次立法(主に指令)または「第三の(tertiary)」ソフト・ロー(例えばコミュニケーション)のルールと条件に基づく
- ・ 「規制の代替的な方法の使用(Use of alternative methods of regulation)」(paras. 16-23.)
 - 欧州レベルの共同規制と自主規制に対する一般的な法的枠組み
 - ① 自主規制と共同規制の一般的な条件
 - ・ 実質的な条件
 - i) EU法との一貫性(consistency)
 - ii) 一般利益への付加価値(added value for the general interest)
 - ・ 手続的な条件
 - iii) 透明性(transparency)
 - iv) 関係当事者の代表性(representativeness)
 - ② 自主規制と共同規制が「適用できない(not applicable)」状況(para. 17)
 - ・ 基本権または重要な政策選択が問題となっている場合
 - ・ ルールが全ての加盟国において単一の方法で適用されなければいけない場合
 - ③ 共同規制、自主規制の適用可能範囲
 - i) 共同規制：関係当事者の経験の重視 + 立法による基準内の実践(para. 18)
 - ・ 関係当事者：立法内容に対する実質的な計画を決定するための自発的なイニシアチブ
 - ・ 委員会：管轄権のある立法機関に対して理由を説明
 - ii) 自主規制
 - ・ 委員会：自主規制が条約規定を満たすかどうかを審査し、一般的な条件に対する適合性について欧州議会と理事会に通知
 - iii) 欧州条約における共同規制と自主規制の位置づけ
 - ・ 明確な共同規制と自主規制についての規定なし

(3) その後の展開

- 2005年 委員会コミュニケーション「欧州連合の成長と雇用についてのより良い規制(Better regulation for Growth and Jobs in the European Union)」¹²
- ・ 規制(regulation)の代替的方法：補完性の原則と比例原則をより尊重することを強調
- 2009年 「影響評価ガイドライン(Impact Assessment Guidelines)」¹³
- ・ 自主規制と共同規制に対する体系的な影響評価の実施
 - ・ 自主規制と共同規制の実施に対する原則(Annex 1)
 - ① 透明性(transparency)
 - ② 公開性(openness)
 - ③ 代表性(representativeness)

¹² European Commission, Communication from The Commission to the Council and the European Parliament, Better Regulation for Growth and Jobs in the European Union, COM (2005)97 final.

¹³ European Commission, Impact Assessment Guidelines, SEC(2009) 92.

④ モニタリング計画の説明責任(accountability of the monitoring arrangements)

2011年 委員会コミュニケーション「企業の社会的責任についてのEU更新戦略2011-14(A renewed EU strategy 2011-14 for Corporate Social Responsibility)」¹⁴の第5次行動計画(action plan)

- ・ 2012年から、企業・他の関係者とともに、自主規制と共同規制のための優れた実践規範の発展のための作業開始

2012年 「効果的公開的自主的参加の原理のための規約：自主規制と共同規制、そして他の多数関係者の活動のための良好な計画的原則(Code for Effective Open Voluntarism: Good design principles for self- and co-regulation and other multistakeholder actions)」¹⁵

- ・ 最善実践原則(best practice principles)についての最初の草案
→ 「よりよい自主規制と共同規制のための原則(Principles for Better Self- and Co-regulation)」

① 最善実践原則

- ・ 自主規制と共同規制の基準(benchmark)：決定的(final)または包括的(comprehensive)ではない
→ 行為者(公的または私的)に対するガイダンスの提供
- ・ 自主規制と共同規制のイニシアチブ：企業の社会的責任(OECDによる促進¹⁶)
- ・ 自主規制における規格化(standardisation)
→ 立法(legislative)、規則(regulatory)、裁量(discretion)に対して不利益を与えない

② 実践の共有(Community of Practice):先見性(vision)の促進と進展の強化

- ・ 委員会：最善実践原則のための実践の共有を牽引
→ 文献と事例研究の収集を含めて、プラットフォームの発展を通してcapacity buildingを支援

3 共同規制、自主規制に対する EU 機関の関与

- ・ 共同規制：強制法規レベル、関係者レベルで扱うべき問題についての均衡のとれた評価が要求される
→ 実際に良い統治の要求を満たすかどうかは一件一件の評価が必要
- ・ 自主規制：特定の問題を関係者に委ねる委員会の意図と決定を通知することで関与
→ 少なくとも自主規制の決定は意思決定権力に影響する

おわり——EU における自主規制と共同規制の実践

「EU Alcohol and Health Forum(EUアルコールと健康フォーラム)」¹⁷

「EU Platform for Action on Diet, Physical Activity & Health」¹⁸：EUレベルの肥満対策・予防アプローチ

「Online Behavioural Advertising(オンライン行動広告、行動ターゲティング広告)」¹⁹

¹⁴ European Commission, Communication from the Commission to the European Parliament, the Council, the European Economic and Social Committee and the Committee of the Regions, A renewed EU strategy 2011-14 for Corporate Social Responsibility, COM (2011) 681 final.

¹⁵ Effective Open Voluntarism: Good design principles for self- and coregulation and other multistakeholder actions, the Code draft (30 May 2012), file:///C:/Users/horitu/Downloads/Consultation-DraftCode.pdf.

¹⁶ OECD Guidelines for Multinational Enterprises; Recommendations for responsible business conduct in a global context. Adopted in May 2011. <http://www.oecd.org/dataoecd/43/29/48004323.pdf>

¹⁷ http://ec.europa.eu/health/alcohol/forum/index_en.htm

¹⁸ http://ec.europa.eu/health/nutrition_physical_activity/policy/index_en.htm.

¹⁹ <http://www.youronlinechoices.eu/>